

患者様の死を受け入れるために。



当クリニックでは、ご自宅で看取りを希望される患者様ご家族にお応えできるよう体制を作り、サービスを提供しています。その中で2015年11月から『デスケースカンファレンス』を定期的開催しています。これは患者様が亡くなられた際、その患者様に関わっていた医師や、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が集まり、その患者様ご家族とともに過ごす中で感じたことや抱いた思いを話す場です。

「死」というものは、患者様ご自身、ご家族にとってとても重い事実です。わたしたちは皆様、その事実、その時を穏やかに迎えられるように、スタッフ一丸となって最大限のサポートを行っています。

しかし、わたしたち医療従事者も人です。患者様が亡くなられたときに、各スタッフは、いろいろな思いを抱きます。「あのとき、もっとこうしていればよかったか

も」といった後悔の念を抱くスタッフも少なくありません。そうした思いを、カンファレンスという場で、言葉にし、仲間と共有することで、そのしこりのようなものを解かすことができます。またその中で、次に活かすことができる新たな発見を得られることもあります。人として、医療従事者として、一歩進めることができる場となればと思っています。

わたしたちは最期は自宅で迎えたいという患者様ご家族の思いに応えるため、皆様の助けに少しでもなれるよう前を向いていきたいと思っています。



山王リハビリ・クリニック/
山王リハビリ訪問看護ステーション
いなむら えみ こ
看護師 稲村 恵美子

今年もクリニック屋上に美味しい葡萄が実りました



当クリニックの屋上では毎年葡萄を育てており患者様にも振る舞っています。今年もたくさんの葡萄が収穫できました！

相談窓口

山王リハビリ・クリニック 地域医療福祉連携室では、相談を受け付けております。お気軽にお電話ください。

TEL:03-5754-2672 / FAX:03-3729-3183

URL:<http://www.sanno-rc.com> / Mail:renkei@sanno-rc.com

院長のブログ

「より良く生きる」をコンセプトに日々の出来事を綴っております。



<http://morieiji.blog.fc2.com/>

より良く生きる 検索

ご寄付の受付について

当法人は、リハビリテーション医療・福祉連携事業を通して皆さまの地域に貢献してまいりたいと考えております。ただ今、ご賛同・ご賛助いただける方々にご寄付を募っております。

編集後記

住み慣れた地域で患者様が迎える「死」について、我々はどう寄り添うべきか、日常的に何に取り組むべきか、を考えさせられる毎日です。臨床倫理は「日常診療において生じる倫理的課題を認識し、分析し、解決しようと試みることによって患者ケアを向上させること」ともいわれます。生活期はいずれ誰もが終末期に移行します。終末期にもリハビリが貢献できる医療を私は目指したい。



リハビリ・スコop 15号

～人とのつながりを大切に Quality of Link (QOL) 地域医療福祉連携室～



編集：菊地達夫・速水聡



かかりつけ医も 担当するリハビリ専門 クリニックを目指す

山王リハビリ・クリニック 院長
もり えいじ
森 英二

地域に寄り添い、在宅での看取りまでサポートする

かかりつけ医を担当するということは患者様の病気だけではなく、生活・暮らしに深く関わっていくという覚悟が必要です。この関わり方には、いろんなかたちがあり、常に変化していくものだと思います。例えば、はじめは高血圧の管理だけをしていた患者様も、長く関わっていくなかで新たな病気や症状を発症する場合があります。そうした変化に対しても柔軟かつ的確に対応できることが、かかりつけ医の大きな使命だと思います。

そして患者様ご家族様がご希望されるなら、最終的には「看取り」まで、しっかり介入していきたいと思っています。そのためにも、複数の医師、看護師、理

学療法士等の専門職、そして介護福祉士をはじめとした介護スタッフやケアマネさんと、しっかりとした連携体制を構築中です。「看取り」には職種に限らず、それなりの経験値が求められると考えており、その部分にしっかり対応できるよう教育や研修にもさらに力を入れ、サービスを充実していきます。

患者様やご家族がご自宅で過ごしていきたいと思っても、ご家族だけでは対応しきれない場合もあります。そういった方々にとって、われわれがサポートし皆様のご希望にお応えできる心強い存在となれるよう、スタッフ一同、より一層の努力を重ねていきますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。



まえしま さよ 前島早代先生のご紹介！

当院に新たな仲間として、前島早代先生が入職されました！
女性の医師ということもあり、女性ならではの悩みも
今まで以上に対応可能になります。
皆様お気軽にお声かけください！

— どのような経緯で入職されたのですか。

4年ほど前からパートとして勤務していて、2016年7月に正式に山王リハビリ・クリニックの医師として勤務を開始しました。もともと研修医の頃から、在宅医療をやりたいという思いはあったのですが、この分野は体力的・技術的にハードルが高く、一人でやっていくには難しいと感じ、半ば諦めていたんです。そんななかで森院長の存在を知り、お話を伺うようになりました。以前は慶應義塾大学病院に勤務していたのですが、森院長、速水先生も同じ病院にいらっしゃったこと、また森院長とわたしの自宅が非常に近い（笑）といった、いろいろな縁が相まって、山王リハビリ・クリニックに入職することとなりました。

— なぜ在宅医療に興味をお持ちになったのですか。

以前までは病院の勤務医として、病棟・外来診療といった業務を行っていて、在宅医療とはほとんど縁がありませんでした。そんななかで、脳に非常に重い症状を持った患者様を担当したんです。

その方は端から見れば、病院でないと生きていけないと感じてしまうほどの状態でした。しかし、ご家族はどうか家に帰って一緒に暮らしたいという思いをお持ちで、リハビリ等にも非常に熱心に取り組まれていました。理学療法士が全介助で立つリハビリを行ったり、ご家族も、患者様の話す内容が要領のつかめない状態でしたが、意思疎通を図ろうと頑張っていました。そして、その結果、ご自宅に戻ることができたんですね。当然、ご自宅で暮らすことで苦労されることもたくさんあるわけですが、それでも一緒に暮らすことがその方たちの幸せだったんです。その姿を見

て、患者様の幸せ、ご家族の幸せをあらためて考えさせられました。そして、同時にご自宅にお帰りになってからの、そうした患者様ご家族を医療・リハビリ・社会的サポートなど多面的にサポートをしたいと強く思うようになり、在宅医療の分野に飛び込もうと決心しました。

— 在宅医療ではどのようなことをしたいですか。

わたしは、主に飲み込みなどのリハビリに注力してきました。この飲み込みに関するリハビリには多くのニーズがありますが、まだ在宅医療では弱い分野だと思いますから、その点に関わっていきたいと思います。また義肢装具の部分にも介入していきたいと思っています。装具も一回だけではなく、長い時間をかけ何度も調整していく世界です。そういった部分にも在宅医療のなかで補ってあげたいと思っています。

— 心がけていることを教えてください。

どうすれば患者さんが幸せになるか、ご家族が幸せになるか。これに尽きます。患者様の想いと、家族の想いどちらも大切に、皆様にしつかりと寄り添い、手助けしたいと考えています。患者様ご家族を全体的にサポートして、皆様が望む幸せをかたちづけるように努力したいと思います。



▶ 自転車で患者様のご自宅へ向かう前島先生

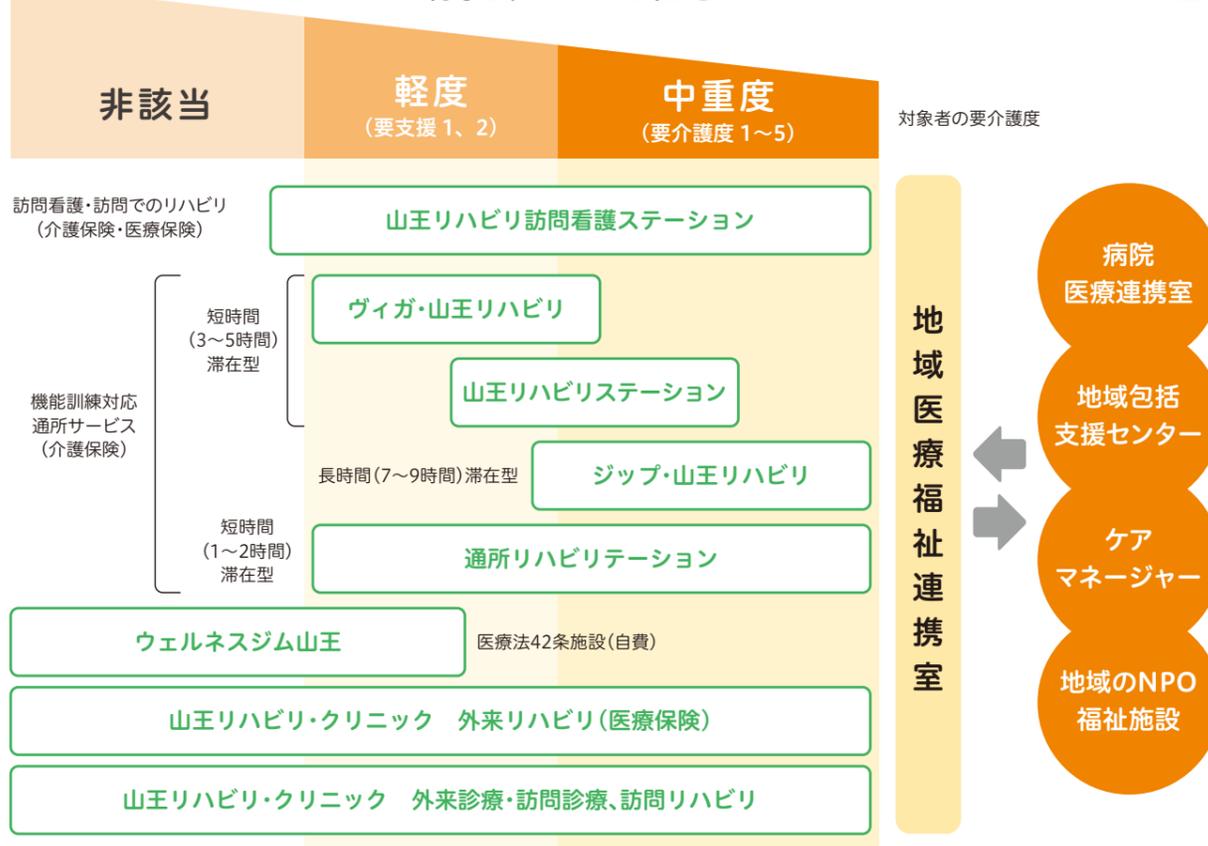


山王リハビリ・クリニック
医師 前島 早代

まだ着任してからの時間が浅く、職場に慣れることにたいへんという前島先生。しかしご自宅でも、なかなか気が休まらないとのこと。その理由は、まだまだ小さく手の掛かるお子さんが3人もいるから！

“仕事もたいへんですが、子供たちの世話をする勤務後や休日もたいへんです”と苦笑する前島先生。そんな先生のストレスの解消法は、時短料理の作り溜めと、食べること。頼りになるお医者さんとして、そしてお母さんとしても頑張れ！前島先生！

清泉会における在宅リハビリテーションのイメージ図



在宅医療の利用方法

山王リハビリ・クリニックをはじめとした関連施設・サービスのご利用者さんがご希望の場合や、当クリニックのスタッフが妥当だと判断した場合、訪問診療につなげるサポートをします。また、当クリニックへお電話や、ホームページからのお問い合わせいただくことで、ご提供につなげることも可能です。お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

清泉会サービス
ご利用の方

- 山王リハビリ・クリニック ●山王リハビリステーション
- ヴィガ・山王リハビリ ●ジップ・山王リハビリ
- 山王リハビリ訪問看護ステーション ●ウェルネスジム山王

当院スタッフに
ご相談
いただくことで

清泉会サービス
ご利用でない方

お電話 03-5754-2672

詳しくは 検索

お電話や
ホームページから

訪問診療